

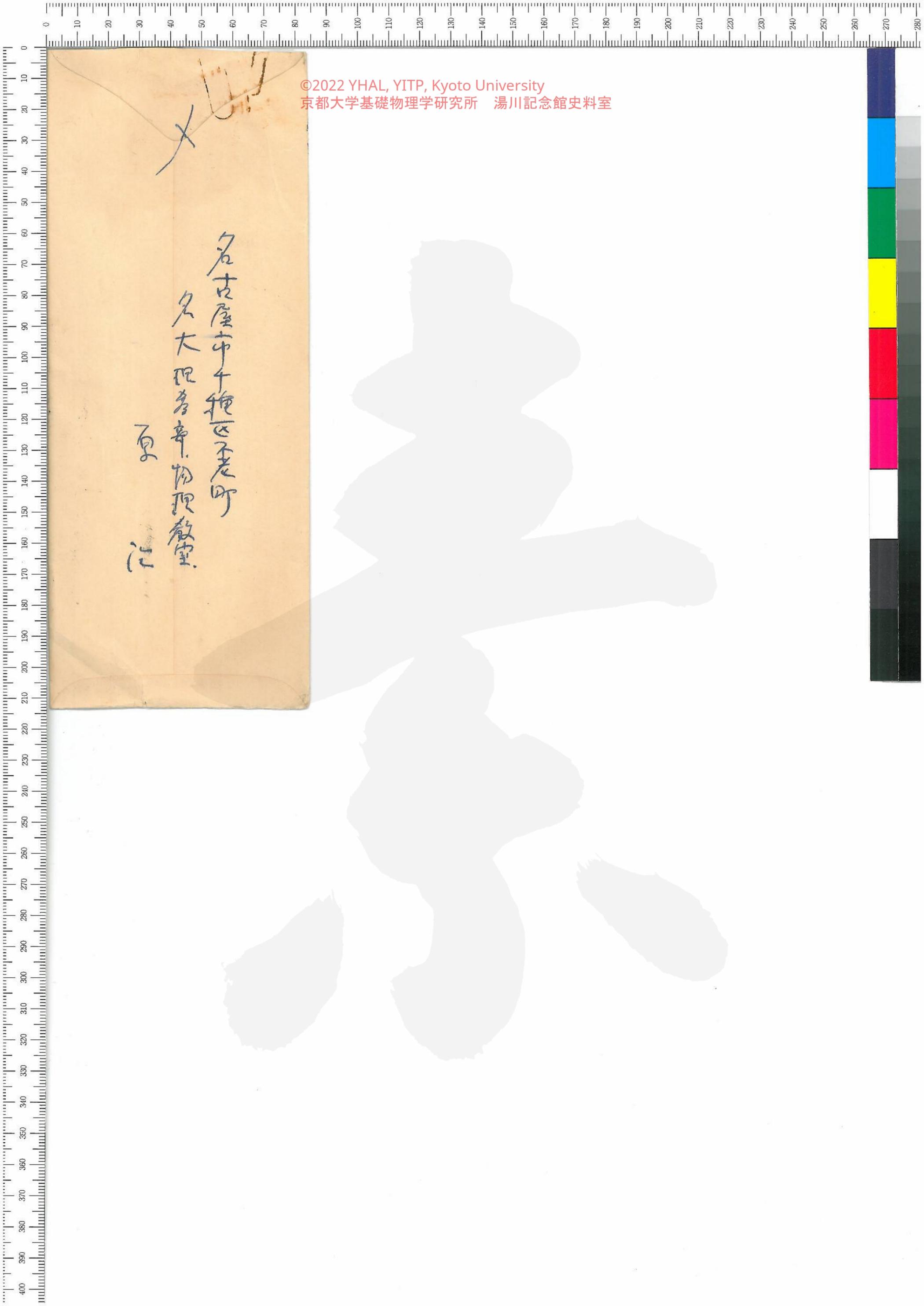


京都市左京区北白河
京大基礎物理学研究所
湯川秀樹先生

c041-023-006



名古屋市中区不老町
名古屋大学理学部物理教室
原 江



No.

先日は色々有難うございました。

火曜の本日は是非またに行きたいと思、
 本日もまた東灘東寺に行きおぼろしくな
 った。土曜日旅行も多くて、残念な
 加減で、またお話ししたい。

この時、御議論を聞いて、このように
 丁文先生の今度のモデルは

	ext.	int	total
π	PS	PS	S
N	1/2	1/2	1 or 0

これは、internal space への対応を導いたのは、 πN
 interaction は困る、と思、この(20)
 の問題は、行、24に及、第=、
 の assignment (π を PS, S とした) には、
 (行、(20)の問題を解決した、
 π ~~は~~ total scalar ^は ~~は~~ essential だった)
 この故、第一の assignment によ、先生、最
 初の意図、 π と N の出来、
 坂田先生の、本、先生、自身、
 行、 π と N の議論、 π と N の

No.

僕は70の肉題に用いた限り先生のideaは最も natural なように思いました。(2点に對して strangeness と R-2 の空間への交換性について) (1) と (2) の両者は一対のものを思いました。) 私のやつは、 ψ と $\bar{\psi}$ の一層をとり、 ψ と $\bar{\psi}$ の別層を ψ と $\bar{\psi}$ とお送りして、主として大々機会がたつた、右の街討論を本願にしたく思っています。(坂田先生の composite の考えを加味すると前の因の ψ と $\bar{\psi}$ の問題も巧くいふことができると思います)

先日は日大の構想について勝手がよくて申し上げたいところを論議をたいていした。その中に「物性論を exclude して...」と申し上げたのは言葉が足りなくて、thermonuclear reaction のよる反応をやるときに十分物性論の人の協力を得る必要があるに違いないとあるべきであると思っております。私は来週月曜と予定し、金曜地遠右方の予定が... 若し先方に連絡したところとよく話し合えるよう指をたいておくべきだと思っております。

No.

未卒に在りし古くは街えきへ帰國のこゝ
心をよぶよるこゝ中し上げます。

湯川先生。

厚に